

DUNLOP NEXT CUP

EXGEL 神戸シリーズ Rd.1

■開催日：5月6日 ■天候：晴れ一時雨 / DRY ■参加：14台

EXGEL®

DUNLOP

ThreeBond



不安定な天候に翻弄されたルーキー勢 狭間翔太、逆転で初戦を飾る！

ダンロップネクストカップ EXGEL 神戸シリーズ開幕戦が、5月6日に兵庫県・神戸スポーツサーキットで開催された。

今季のDNCはスカラシップクラスにはレーシングスクールなどへの受講料助成をはじめとする各種スカラシップが設けられ、またエンジョイクラスへは4輪レース参戦といった特典が設けられている。

今季からは、昨年まで使用していたイアメ・リードジェットエンジンから、よりハイパワーなX30エンジンへと変更。正し、排気リストラクターを装着しパワーを抑制することでジュニア世代にも適したパワー特性としている。

今回の開幕戦にエントリーしたのは14台。昨年からの継続参戦やスポット参戦もいるが、ルーキー勢が多数を占め、新しいシーズン開幕を実感させるメンバーとなった。

レースウィークは概ね好天に恵まれたものの、決勝日は午後から天候が崩れ、時折降る雨がコースを湿らせる状況。この雨が、レースの行方を大きく左右した。

真新しいEXGELカラーのスーツ、マシンが続々とコースインした公式練習&タイムトライアル。ここで好タイムをマークしたのは、昨年のジュニアチャンピオン野村勇斗。今年各地のX30のレースに出場している野村は、今シリーズでもチャ



ンピオン候補の筆頭に挙げられるドライバーだ。2番手には鳥影終磨、3番手にはDNCではベテランとも言える狭間翔太が続く。

予選ヒートでは狭間が好ダッシュから序盤をトップで引っ張るが、野村が逆転。後方で2番手争いが展開される間にリードを広げ、トップチェッカーを受け決勝PPを獲得する。2位

GRAN TURISMO

ENDLESS
The will to WIN.

KTC
KYOTO TOOL

Arai
HELMET

NGK
SPARK PLUGS

MOTUL

birel
PACIFIC

iame
THE HEART OF KART

KRP
Racing Project



しかしスタートしてみると、レイン勢は全く刃が立たず、スリック勢がハイペースで周回。中でも、スタートでアウトから野村をかわりトップとなった狭間は、完全なドライセッティングを活かしてペースを上げると、序盤にして大量リードを築くことに成功。終盤に入ってもリードをますます広げ、今季初戦を優勝で飾った。2位には7番グリッドからの追い上げとなった岡本健佑、3位には序盤から2番手争いを展開していた嶋田隼人が入り表彰台を獲得した。PPスタートの野村は、為す術なく10位フィニッシュとなった。

には狭間が上がり、決勝での好バトルが期待された。

しかし、午後のスケジュールが進むと次第に雲行きが怪しくなり、併催のSL神戸シリーズのレースが進むにつれ、時折雨が降ってくる。DNC決勝の2レース前に組まれてたスーパーSSクラスでは、スリックとレインが混在するレースとなりレイン勢が圧勝する状況となった。

ただし、強い雨はこのレースまでで、直前のJ4は全車スリックタイヤ装着ながら、全員完走とスリックでも十分に走れるほどにはコースコンディションも回復。ライン上はドライ、ラインを外れるとやや湿っているという難しいコンディションで決勝スタートを迎えた。雨雲レーダーでは、スタート直後に雨が降るといった情報もあり、PP野村をはじめ、5台がレインタイヤを選択してスタートを切った。



DUNLOP NEXT CUP EXGEL 神戸シリーズ第1戦

Pos.	No.	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.P.	Q.H.
1	10	狭間翔太	チームナガオ	Energy	IAME	DL	42.68 (3)	2
2	10	岡本健佑	TIGRE	SWF	IAME	DL	42.915 (9)	7
3	5	嶋田隼人	K-TECH with ひいたあばん	BirelART	IAME	DL	43.079 (1)	8
4	7	西浦 徹	リンクス with プレイブル	EXPRIT	IAME	DL	42.922 (10)	9
5	8	翁長実希	スクーデリア沖繩	EXPRIT	IAME	DL	42.848 (8)	11
6	4	鎌刈一希	トップラボ	BirelART	IAME	DL	42.837 (7)	5
7	12	橙 侍規	チームナガオ	Energy	IAME	DL	42.774 (5)	6
8	2	島影終磨	エスカルゴ	TONYKART	IAME	DL	42.656 (2)	4
9	3	小林敬淑	ANT.RT	TONYKART	IAME	DL	43.425 (13)	13
10	6	野村勇斗	Ash	EXPRIT	IAME	DL	42.515 (1)	1



1st : 狭間翔太

チームナガオ

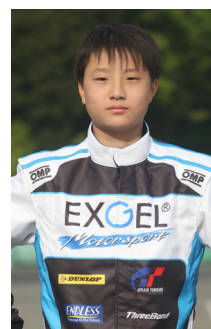
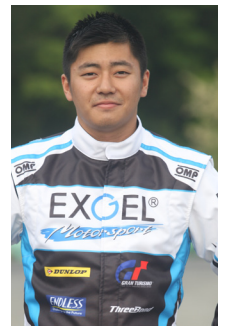
バタバタのレースでした。TTは微妙な3番という順位でしたが、あまりタイヤも使わないように温存していて、予選でも温存していたら雨が降ってきて、と思っただら上がって……。結果、勝ちました(笑) みんながペースが上がらなかったのに対し、自分は普通のスリックのセットだったので、そのままのペースで走っていたら、周囲が離れていった感じでした。

2nd : 岡本健佑



TIGRE

決勝前は雨が降るかと思って全部をレインセットにしていたのですが、コースを見に行ったら乾いていたので、イチかバチかでスリックを選びました。最初はちょっと遅かったのと、レイン勢のペースが明らかに遅くて、それに引かかってロスし、狭間選手に逃げられしまいました。いいレースで運もよく、2位になったので良かったです。次は1位になれるように練習します。



3rd : 嶋田隼人

K-TECH with ひいたあばん

TT、予選と全然調子が上がらずにいたのですが、決勝では天候にも恵まれました。決勝の5分前くらいまではタイヤを迷っていましたが、路面や前のクラスのレースも見て、スリックで行けそうだと判断しました。イチかバチかの選択でしたが、結果的にはよく、スタートも自分としては上手く決まりました。途中、スピリットが危ない時もありましたが、全体としては良かったと思います。TT、予選でセットが出せないところは、次のレースまでに反省点として改善していきたいと思っています。

